

はじめに

本校区の三校が文部科学省より研究開発学校の指定を受け1年が経とうとしています。この間、4年前に研究開発学校の指定を受け先行していた松原第七中学校をはじめ、小学校にも全国から学校視察に来ていただいたり、各地で開催される研修会に講師として教員が取組について話す機会がたくさんありました。そのような多くの有意義な研修の場でいただいた様々なご指摘ご教示をもとに、校区の三校一園で協働して開発していくということに、戸惑いながらも、今日の重要な教育課題であり、懸案であるいじめ・不登校の未然防止と指導・支援にかかわる取組の在り方を研究開発の主題として研究と実践を進めてまいりました。研究開発にあたっては、「適切な実態把握に基づき、個々の実態に基づいて事態の改善を図る」という基本姿勢をもち、実態把握には各種の調査を実施し、数量的な分析に基づいて課題を検討してきました。

いじめのない、いじめを解決できるような人間関係の向上と居場所のある集団づくり(学校、学年、学級)をすすめ、また、不登校児童生徒の学校復帰の道筋を明らかにするとともに、子どもたちのストレスマネジメント能力の育成をはかる等、生涯にわたって活用できるしなやかな感性を培い、「生きる力」を育むことをめざして、ストレスマネジメントやソーシャルスキルを系統的に学ぶ「人間関係学科」を設定し、義務教育9年間の学習プログラムを開発してきました。また、松原第七中学校においては、完全学校(教室)復帰への中間ステーションとしての「ほっとスペース」の充実を図ってきました。さらに、こうした校区の研究・実践にとどまらず、学校と地域・家庭を結び、子どもたちの育ちを支援する総合的なネットワークの構築、協働した運営をめざしてきました。

研究を進めるにあたり、ご指導いただきました運営指導委員の諸先生方ならびに教育委員会の皆様方に深く感謝いたしますとともに、保護者、地域の方々からのご理解ご支援に感謝いたします。

本冊子は、今年度1年間の研究開発の概要をまとめたものです。ご一読いただき、今後も校区教職員の結束力と対応力で研究開発を推進していく今後の取組を一層推進していくために、忌憚のない率直なご意見ご教示をいただければと願っています。

平成20年3月

松原市立松原第七中学校校長	田中義文
松原市立恵我小学校校長	井上雅彦
松原市立恵我南小学校校長	山本 清

平成19年度 報告書 目次

校区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 . 本校区の様子
- 2 . 校区の連携
- 3 . 各校の概要

研究開発の概要・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 . 研究開発の課題
 - 1) 課題（研究のねらいや目標）
 - 2) 課題設定の理由
- 2 . 研究の概要
 - 3) 研究仮説
 - 4) 教育課程上の特例
 - 5) 研究計画

研究開発の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・

研究開発の内容・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 . 研究組織
- 2 . 教育課程の編成
- 3 . 子どもの実態から
 - 1) 松原市立松原第七中学校
 - 2) 松原市立恵我小学校
 - 3) 松原市立恵我南小学校
- 4 . 人間関係学科の取り組み
 - 1) 校区
 - 2) 松原市立松原第七中学校
 - 3) 松原市立恵我小学校・恵我南小学校
- 5 . いじめ・不登校生への取り組み
 - 1) 松原市立松原第七中学校
 - 2) 松原市立恵我小学校
 - 3) 松原市立恵我南小学校
- 6 . 保護者・地域・諸関係機関とのネットワーク

実施の効果・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 . 子どもの変化
 - 1) 松原市立松原第七中学校
 - 2) 松原市立恵我小学校
 - 3) 松原市立恵我南小学校
- 2 . 教員のアンケートから
- 3 . 保護者の意見から

研究開発実施上の問題点及び今後の研究開発の方向

- 1 . 実施上の問題点
- 2 . 今後の課題